

令和7年度予算の主な事業

第8回（2月）定例会で可決された令和7年度予算の中から、主な事業を紹介します。

放課後 児童クラブ 運営事業

予算額
5億5,304万円



▲放課後児童クラブで思い思いに過ごす子どもたち

放課後等に保護者が不在の児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るもので、民間の専門事業者による運営に移行し、開設日時拡大などさらなるサービス向上を図るものです。

総合的治水対策 整備事業

予算額
12億2,358万円



▲整備が進められている大平江川排水機場

常襲浸水地域の浸水被害軽減を図るため、大平地区では、大平江川排水機場ポンプ設備等整備工事に着手するほか、沼川・高橋川流域においては、井戸川雨水貯留池の本体工事に着手するものです。



▲新愛鷹地区センターの整備イメージ

地区センター 整備事業

予算額
4億2,130万円

地域住民の活動・交流拠点である地区センターの再整備を計画的に進めるものです。令和7年度は、愛鷹地区センターの建築主体工事及び西浦地区センターの擁壁築造工事等を実施します。

企業立地 促進事業

予算額
5億1,210万円



▲企業立地が進むフォレストパーク

産業振興や雇用の創出を図るため、企業が本市に立地する際の用地取得費等に対して助成を行うとともに、首都圏のIT企業等を対象とした市内体験型視察ツアーを実施するものです。



▲保育所等における子どもたちの健全な育成を支援

施設型給付 ・地域型保育 給付事業

予算額
48億5,000万円

教育・保育給付認定を受けた児童が利用する認定こども園等に対し、管理運営費等の支援を実施するものです。また、令和7年度は新たに同一世帯における第2子保育料を一律半額に軽減します。



▲民間スイミングスクールで指導を受ける子どもたち

学校水泳指導 民間委託事業

予算額
5,177万円

小学校の水泳授業における実技指導を民間のスイミングスクールへ委託することで、児童の泳力向上を図ります。これにより学校プールの老朽化による維持管理費の削減や教職員の負担軽減も期待されます。



▲SNSを活用した災害情報集約システム

安全な 地域づくり 推進事業

予算額
1,190万円

風水害や巨大地震などの災害への対応を強化するため、SNSを活用した災害情報集約システムを導入するほか、住宅への感震ブレーカー設置補助等を行うものです。